

パブリックコメント手続きの実施結果について

- ・ 案件名 伊東市公共経営改革大綱（案）
- ・ 実施期間 平成27年12月14日（木）から平成28年1月12日（火）まで
- ・ 担当課 行政経営課
- ・ 意見提出数 1人・11件

「伊東市公共経営改革大綱（案）」に対していただいたご意見と市の考え方

No.	頁	意見内容	市の考え方
1		<p>前回（平成24年～平成27年）の大綱で、何が改革され、何がまだ課題として残っているかが、今回の大綱を策定するに際して整理されて明らかになっていません。そのところを市民の皆さんに明らかにしなければ新たな改革にはつながらないと思います。従って、前回（平成24年～平成27年）の大綱の総括（あるいは中間的な整理）を、今回の大綱に記載すべきだと思います。</p> <p>毎年、改革の進捗状況を公開していると言うかもしれませんが、毎年であるが故にそれは細切れであり、大事ではあります。が一つのデータに過ぎません。更なる公共経営の改革につなげていくためには、これまでの改革は総括してどうだったかということ論じておく必要があると思います。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「1 策定の趣旨」の三段落目に、「前回（平成24年から平成27年度まで）の大綱において、計画どおりもしくはそれ以上に進捗している取組が69.6%（平成26年度末現在）であり、本大綱の策定に当たり、取組が遅れている事項を中心に内容を精査しました。さらに、これまで以上に個別具体的な数値目標を設定し、進捗管理を図るとともに、PDCAマネジメントサイクルにより毎年検証を行い、職員一人一人が自覚を持って行財政改革に取り組み、その結果を市民と共有していきます。」という表現を追加します。</p>
2	1	<p>1 策定の趣旨 <意見>（下線部分を追加する） ・ ・ ・限られた財源・人材の中で、市民や地域等の様々な主体の参画により、いかに効果的・効率的に行政サービスを提供するかという視点が重要となります。</p>	<p>市民参画を効果的、効率的な行政サービスの提供という視点とは別に捉えることについては、「1 策定の趣旨」の中では「市民や地域等の様々な主体の参画により」と表現し、さらには「4 施策の推進」の「3 市民参画によるまちづくり」の中で、「多くの市民が活動に加わり、主体的にまちづくりに参</p>

No.	頁	意見内容	市の考え方
		<p><u>さらには、協働による人々との支え合いと活気のある社会づくりを希求し、真に改革された行政と参加意欲を持つ市民・地域等との協働を追求しつつ、公共経営の主体たる市民の皆さんが参画できる環境を整えることが重要になります。</u></p> <p>* 太字は、前回（平成 24 年～平成 27 年）の大綱の「策定の趣旨」から整理して引用。</p> <p><理由></p> <p>前回（平成 24 年～平成 27 年）の大綱の「策定の趣旨」と違っている部分がありますが、特に市民等の位置づけに係る部分が相違していると思われます。</p> <p>即ち、今回の大綱の策定の趣旨では、効果的・効率的に行政サービスを提供するについて、行政職員だけでは、また公金だけでは難しくなっているため、それを補う意味で、市民等の参画が必要になる、という論理になっています。</p> <p>それはそれで大事だと思いますが、効果的、効率的な行政サービスの提供という視点とは別に、根本原則として、公共経営には経営の主体たる市民等の参画が大事であるという視点、哲学も大事だと思います。</p> <p>前回（平成 24 年～平成 27 年）の大綱の「策定の趣旨」には、そのところが表現されていたと理解できますので、その部分は前回は踏襲すべきだと思います。</p>	<p>画することができる環境づくりを進める」と表現することにより、公共経営の主体の 1 つである市民が主体的にまちづくりに参画できるよう、引き続き積極的に取り組むことを示しています。</p>

No.	頁	意見内容	市の考え方									
3	1	<p>2 公共経営改革が目指す姿</p> <p><意見> (下線部分を追加する)</p> <p>・・・</p> <p><u>○市民参画によるまちづくり</u></p> <p><u>○市民の信頼に応える行政運営</u></p> <p><u>○健全な財政運営* 序列を第4 次総合計画に合わせる</u></p> <p>* 序列を第四次総合計画に合わせる</p> <p><理由></p> <p>前回(平成24年~平成27年)の大綱と比べて、表現が違います。第四次総合計画の施策の「目標」と「項目」を入れ替えただけで中身が違う訳ではないと思いますが、表現を違えたことが何を意味するのか判然としません。</p> <p>それはともかくとして、第四次総合計画では、施策の「項目」に番号をつけて記載に序列を与えている訳ですから、そして、改革大綱は、第四次総合計画を実現していくために策定する訳ですから、この際、大綱に記載の施策「項目」の順序も第四次総合計画の序列に合わせるべきだと思います。</p>	<p>本大綱は、人口減少や少子高齢化が進行し、地方財政も依然として厳しい状況にある中で、多様化し増大する行政需要に的確に対応し、質の高い公共サービスを効率的かつ効果的に提供するため、行財政改革を進めることにより、財源を生み出すとともに、限られた財源・人材の中で、市民や地域等の様々な主体の参画により、効果的・効率的に行政サービスを提供することを主眼に策定しているため、「市民の信頼に応える行政運営」、「健全な財政運営」、「市民参画によるまちづくり」の序列としています。</p>									
4	3	<p>4 施策の推進</p> <p><意見> (下線部分を追加する)</p> <table border="1" data-bbox="398 1142 1171 1390"> <thead> <tr> <th data-bbox="398 1142 656 1289">指標</th> <th data-bbox="656 1142 913 1289">現状 (平成24年度 ~平成27年度)</th> <th data-bbox="913 1142 1171 1289">目標 (平成28年度 ~平成32年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="398 1289 656 1342">・・・</td> <td data-bbox="656 1289 913 1342">・・・</td> <td data-bbox="913 1289 1171 1342">・・・</td> </tr> <tr> <td data-bbox="398 1342 656 1390">・・・</td> <td data-bbox="656 1342 913 1390">・・・</td> <td data-bbox="913 1342 1171 1390">・・・</td> </tr> </tbody> </table>	指標	現状 (平成24年度 ~平成27年度)	目標 (平成28年度 ~平成32年度)	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	<p>本大綱における「現状」、「目標値」は、累計値でなく、年度(時点)で設定し、それぞれ具体的な年度(時点)を記載しています。</p> <p>なお、累計値を設定している指標については、「現状(平成24年度から平成27年度累計)」、「目標(平成28年度から平成32年度累計)」と表記し、他の指標と区別しています。</p>
指標	現状 (平成24年度 ~平成27年度)	目標 (平成28年度 ~平成32年度)										
・・・	・・・	・・・										
・・・	・・・	・・・										

No.	頁	意見内容	市の考え方									
		<p><理由></p> <p>表中、「指標」に対して「目標」（平成32年度）が示されていますが、前回の大纲の平成24年度からの累計値なのか、今回の大纲の期間（平成28年度～平成32年度）の値なのか判然としません。「現状」（平成27年度）の数値から推測すると、それぞれ改革大纲の期間の累計だと思われますので、そこを明確に標記した方が分かり易いと思います。</p>										
5	3	<p>4 施策の推進</p> <p>1 市民の期待に応える行政運営</p> <p>1 ITOシステムの更なる進展</p> <p><意見>（下線部分を追加する）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施項目</th> <th>主な指標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>・・・ (パブリックコメント)</td> <td>調査票回収率 提出意見数</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>・・・</td> <td>懇談会実施回数 見直し件数(新規を含む)</td> </tr> </tbody> </table> <p><理由></p> <p>パブリックコメントに係る指標がありませんので、「提出意見数」と追加記載すべきです。</p> <p>会議の開催回数はアウトプットに過ぎません。アウトカム(成果・効果)を図る指標としては不十分です。会議の内容を指標化するのは難しいと思いますが、実施項目が「政策の検討強化」ですから、「見直し件数(新規を含む)」を指標に追加記載してはいかがでしょうか。</p>		実施項目	主な指標	1	・・・ (パブリックコメント)	調査票回収率 提出意見数	2	・・・	懇談会実施回数 見直し件数(新規を含む)	<p>ご提案のとおり、「パブリックコメントの意見件数」を、主な指標として設定します。</p> <p>また、1「ITOシステム」の更なる進展における指標として「事務事業の整理合理化による見直し件数」、「各会計予算における新規事業件数」を掲げ、進捗状況を管理していきます。</p>
	実施項目	主な指標										
1	・・・ (パブリックコメント)	調査票回収率 提出意見数										
2	・・・	懇談会実施回数 見直し件数(新規を含む)										

No.	頁	意見内容	市の考え方						
6	4	<p>4 施策の推進</p> <p>1 人事管理、給与制度の体系的整理、民間への業務移管の推進及び研修制度の充実</p> <p><意見> (下線部分を追加する)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現状</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員定数</td> <td>・・・</td> <td><u>675人</u> ※1 (平成32年4月1日)</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 1 平成28年度消防広域化に伴う派遣職員(105人)を <u>含む</u></p> <p><理由></p> <p>消防広域化に伴う派遣職員(105人)は、伊東市職員の身分を失う訳ではありません。予算上の項目はいずれにせよ、派遣職員の実質人件費は伊東市が負担する訳ですから、どうして職員定数から除く必要があるのでしょうか。数字を明記して、職員定数にカウントすべき性格のものです。</p>	指標	現状	目標	職員定数	・・・	<u>675人</u> ※1 (平成32年4月1日)	<p>消防広域化に伴う派遣職員は、伊東市職員定数条例の「職員定数」から外れること、派遣職員を除いた実質職員定数の増減を指標として捉えることができる利点があることから、派遣職員を含まない数値を指標(目標値)として設定しています。</p>
指標	現状	目標							
職員定数	・・・	<u>675人</u> ※1 (平成32年4月1日)							

No.	頁	意見内容	市の考え方				
7	5	<p>4 施策の推進</p> <p>2 健全な財政運営</p> <p><意見> (下線部分を追加する)</p> <p>「市の財政の健全な運営(満足度)」・・・</p> <p><u>経常収支比率85.0%(H26年度86.1%)</u></p> <p><u>市民の収納率86.0%(H26年度82.7%)</u></p> <p><理由></p> <p>財政健全化は、アンケート調査による市民の感想も大事ですが、明確な数値で示されるべきものです。次の「具体的な方策」の項に、指標と目標を示している訳ですから、ここでは、合わせてそのことを記載すべきです。アンケート調査の数値だけを目標値にするとアバウトな財政運営をするようなイメージになります。</p>	<p>本大綱においては、各実施事項について進捗状況等を詳細に管理するとともに、成果を指標により評価することとしています。さらに、最終的に目標値を市民の満足度等で捉えることで、行政のみの一方的な評価でなく、市民の皆さんにも評価していただくといった体系となっています。</p>				
8	6	<p>4 施策の推進</p> <p>2 健全な財政運営</p> <p>2 公共施設等総合管理計画の推進</p> <p><意見> (下線部分を追加する)</p> <table border="1" data-bbox="398 1029 1167 1129"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共施設除却件数</td> <td>5件 ※1</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>*1 「000」「000」「000」「000」「000」を予定する。</u></p> <p><理由></p> <p>この場合、他の目標数値を違って、5件という数字を出す時点で具体的な施設名を予定している訳ですから、注書きで、具体名を列挙しておくべきです。そうした方が市民と行政の情報共有ができると思います。</p>	指標	目標	公共施設除却件数	5件 ※1	<p>大綱については、本市の行財政改革に係る全体の方向性を示すものであり、各方策における詳細な実施事項については、別途「実施概要」を作成し、進捗状況を管理していくこととするため、具体的な施設については「実施概要」に記載していきます。</p>
指標	目標						
公共施設除却件数	5件 ※1						

No.	頁	意見内容	市の考え方
9	6	<p>4 施策の推進</p> <p>3 市民参画によるまちづくり</p> <p><意見> (下線部分を追加する)</p> <p>・・・市民の意見や提案をこれまで以上に反映し、事業を展開していくために、多くの市民が活動に加わり、主体的にまちづくりに参画することができる環境づくりを進めます。</p> <p><u>さらには、公共経営の主体は市民の皆さんであるという視点を一層明確に位置づけます。</u></p> <p><理由></p> <p>効果的、効率的な公共経営をするために、主体的な市民の参画が大事であるという視点とは別に、市民こそが公共経営の主体であるという視点が大事だと思います。このことは、伊東市における公共経営改革の核心の一つだと考えますので、文言として明示をすべきだと思います。</p>	<p>市民が公共経営の主体であるという視点については、「4 施策の推進」の「3 市民参画によるまちづくり」の中で、「多くの市民が活動に加わり、主体的にまちづくりに参画することができる環境づくりを進める」と表現する等により、公共経営の主体の1つである市民が主体的にまちづくりに参画できるよう、引き続き積極的に取り組むことを示しています。</p>
10	7	<p>4 施策の推進</p> <p>3 市民参画によるまちづくり</p> <p>2 市民との情報共有化の推進</p> <p><意見> (下線部分を追加する)</p> <p>市民の意見や創意をまちづくりにいかすために、市政情報をわかりやすく市民に伝えるとともに、<u>会議記録や統計データなど素情報を可能な限り詳しく提供します。</u></p> <p>また、市民からの意見を広く聴くことに努めるなど、広報・公聴の充実を図り、市民との情報共有を推進します</p>	<p>「新規の情報提供項目数」を指標化することは考えていませんが、「会議記録や統計データなどの素情報の提供」については、「市政をわかりやすく市民に伝える」方策の具体的な提案の1つとして捉え、今後の行政運営の参考とさせていただきます。</p>

No.	頁	意見内容	市の考え方						
		<table border="1" data-bbox="405 252 1167 400"> <thead> <tr> <th data-bbox="405 252 815 300">指標</th> <th data-bbox="815 252 1167 300">目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="405 300 815 347">市からの情報提供</td> <td data-bbox="815 300 1167 347">70.0%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="405 347 815 400">新規の情報提供項目数</td> <td data-bbox="815 347 1167 400">※適宜記載する</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="427 411 539 443"><理由></p> <p data-bbox="427 459 1167 683">市でわかりやすく情報を加工した上で提供することも大事ですが、インターネットを使えば大量データの提供も物理的に可能ですから、市民の皆さんが公共経営の主体として色々なことを検討できる素情報の提供は、公共経営改革の核心の一つだと思います。</p> <p data-bbox="427 699 1167 874">* 統計データは現在も提供されていますが、既に国からRESAS の提供がされていることから、本市固有のより詳しいデータの提供が必要だと思います。(例 大字別人口動態の推移)</p> <p data-bbox="427 890 1167 1066">情報共有化の指標は、満足度だけで満足してはいけないと思います。せっかく市民の皆さんからも色々な事業提案などをしてもらおうと言っているのですから、新規に情報提供する項目の数も指標すべきです。</p>	指標	目標	市からの情報提供	70.0%	新規の情報提供項目数	※適宜記載する	
指標	目標								
市からの情報提供	70.0%								
新規の情報提供項目数	※適宜記載する								

No.	頁	意見内容	市の考え方									
11	7	<p>4 施策の推進</p> <p>3 市民参画によるまちづくり</p> <p>2 市民との情報共有化の推進</p> <p><意見> (下線部分を追加する)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施事項</th> <th>主な指標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>市ホームページ <u>各種審議会会議録の提供</u> <u>詳細統計データの提供</u></td> <td>・・・</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>・・・</td> <td>・・・ <u>パブリックコメントの</u> <u>件数</u></td> </tr> </tbody> </table> <p><理由></p> <p>各種審議会会議録及び詳細統計データの提供は市民の皆さんとの情報共有において極めて大事だと思います。いずれもホームページ閲覧件数で計測することができます。</p> <p>パブリックコメントは、公聴事業の重要な柱の一つです。欄は「主な指標」といえ、これを記載しなかったら、情報共有の推進が軽く見えてしまいます。</p>		実施事項	主な指標	1	市ホームページ <u>各種審議会会議録の提供</u> <u>詳細統計データの提供</u>	・・・	2	・・・	・・・ <u>パブリックコメントの</u> <u>件数</u>	<p>「各種審議会会議録の提供、詳細統計データの提供」については、「市政をわかりやすく市民に伝える」方策の具体的な提案の1つとして捉え、今後の行政運営の参考とさせていただきます。</p> <p>「パブリックコメントの件数」については、No.5の回答のとおり対応します。</p>
	実施事項	主な指標										
1	市ホームページ <u>各種審議会会議録の提供</u> <u>詳細統計データの提供</u>	・・・										
2	・・・	・・・ <u>パブリックコメントの</u> <u>件数</u>										